

上益城地域の未来への想い

地域未来創造会議（上益城地域）

令和7年1月23日

熊本県知事

木村 敬

1 上益城地域の地域資源・伸びしろ

人口推移

- 管内の人口推移は町により傾向が異なるが、熊本市への交通アクセスの良さなどから、御船町・嘉島町・益城町は増加傾向にある。

県内の市町村別の人口増加率順位：嘉島町が2位、益城町が5位、御船町が6位
(R6.10.1時点での前年同月比 出典：熊本県の人口と世帯数)

- 緑川などの河川が貫流し、渓谷や滝などの自然景観、棚田などの豊かな農村景観に囲まれており、自然と調和の取れた環境の良さがあることから、「ちょうどいい田舎」を目指し、移住定住や子育て支援などの取組みを進めている。

交通アクセス

(1) 阿蘇くまもと空港

- 益城町には阿蘇くまもと空港があり、台湾などとの定期便が増加するなど、本県の国際交流の拠点になっている。

(2) 高規格道路ネットワーク

- 上益城地域には九州縦貫自動車道や九州中央自動車道のICが数多くあり、令和6年2月に「山都中島西IC～山都通潤橋IC」間が開通するなど、他地域からのアクセス性が良い。
- 10分・20分構想による道路整備が検討されている。

(3) 道路整備

- 熊本地震からの復興事業として、熊本高森線の4車線化などを実施中。

各町の人口推移 単位：人

町名	R2	R5
御船町	16,303	16,561
嘉島町	9,547	9,952
益城町	32,510	33,113
甲佐町	10,132	9,833
山都町	13,503	12,401

出典：R2国勢調査、R5熊本県推計人口調査



熊本高森線4車線化事業(広崎～惣領)

1 上益城地域の地域資源・伸びしろ

農林業

- 管内の農業については、地形と冷涼な気候を活かし、多様な品目が生産されている。
 - ・平坦地：米・麦・大豆・スイカ等
 - ・中山間地：米・夏秋トマト・ピーマン・茶等
- 有機JAS認定事業者数日本一の山都町を中心に、有機農業促進に向け、オリジナル事例集を活用した就農相談や経営指導等を実施。
- 林業の担い手確保・育成に向け、関係団体との意見交換、現地視察会、矢部高校と連携した研修会等を実施。
- 中山間地域では、ジビエを新たな地域資源として活用している。



夏秋トマト

産業の集積

- TSMC進出を契機に、臨空テクノパークなどに新たな企業の立地が進んでおり、引き続き交通アクセスの良さも活かした企業誘致に取り組んでいる。
- 複数の大型商業施設が立地しており、管外（県外含む）からの買い物客で賑わっている。



高校生への機械操作研修

1 上益城地域の地域資源・伸びしろ

魅力的な観光スポット

(1) 歴史や文化

- 国宝である「通潤橋」や「清和文楽」(山都町)に加えて、「やな場」(甲佐町)や「浮島神社」(嘉島町)など、歴史的・文化的な観光スポットがある。
- 「八朔祭」など、地域の祭りが行われている。

(2) 体験や運動

- 御船町には「恐竜の化石発掘体験」や「吉無田高原」、益城町には「潮井自然公園」、緑川流域(甲佐町、山都町)のキャンプ場など、体験型の観光スポットが多く存在する。
- 運動公園や体育館なども各町に整備されており、スポーツ活動が行われている。

地域づくり団体

- 地域づくり活動が行われており、地元の魅力発信などに取り組んでいる。
 - ・山都町：SDGsを活かしたまちづくり
 - ・甲佐町：地域づくり団体(一般財団法人パレット)による活動



通潤橋(山都町)



やな場(甲佐町)

2 上益城地域の未来についての想い

地域振興

熊本都市圏へのアクセスの良さを活かし、商工業の振興や住宅環境の改善に取り組む
九州山地の高冷地特有の農畜産業や林業の高付加価値化に向けて、お茶等の特産品のブランド化を推進

九州中央自動車道「山都通潤橋IC」までの開通を契機として、緑川水系全体に広がる、国宝「通潤橋」を始めとする日本有数の石橋群や歴史文化遺産、日向往還に代表される宮崎県との繋がり、豊かな自然環境を活かし、観光振興に取り組む

高規格道路の整備を強力に推進

九州各県に所在する半導体関連産業の拠点をつなぎ、新生シリコンアイランド九州を実現するために必要な人流・物流を確保

災害時の「命の道」となる高規格道路の整備を強力に推進

交通渋滞解消に向けて、縦割りを排して連携し、具体的取組を策定・実行

県道熊本高森線の4車線化、県道堂園小森線の現道拡幅等の整備の早期完了
将来世代を考慮に入れて成長著しい熊本都市圏の未来像を議論し、地域のまちづくり計画との整合をとりつつ、熊本都市圏の将来交通計画を策定
街中から空港へのアクセス改善に向けて、熊本益城大津線(第二空港線)の交差点改良を実施

2 上益城地域の未来についての想い

■ 空港周辺地域のにぎわいを創出

空港周辺地域では、空の玄関口として、更なる賑わいが創出できるよう、ホテル、MICE施設等の誘致や地下空間の利用について検討を進める

ライフサイエンス分野における新産業創出を目指し、人・もの・技術・情報が集まる「知の集積」を推進する「UXプロジェクト」を進める

■ 新たな価値を創造するオールラウンドな林産業を育成

利用期を迎えた森林資源の循環利用を進めつつ、森林の清々しさや木の暖かみを感じられる場を広げていくため、公共及び民間施設等への県産木材の積極的な利用、観光業との連携、木育活動等を推進する

■ 高付加価値な周遊型観光地として磨き上げ

自然を活かした体験型ツーリズムの充実

地域の伝統文化・祭り

「食のみやこ熊本県」の食文化を活かした観光誘客

サイクルツーリズム(魅力的なコースづくり、サイクリストの受入環境整備など)

インフラツーリズム(通潤橋など石橋群)

ご清聴
ありがとうございました

